

SLOC 通信

小児運動器疾患指導管理料

かつが整形外科クリニック 院長 西山 徹

ロコモの認知度が 50%を超えるように頑張って参りましたが、運動器の健康日本協会（旧：運動器の 10 年日本協会）から発表された。2018 年 3 月時点でのロコモ認知度調査の結果が、48.1%と目標の 50%以上に届かず、残念な結果でした。今後、ロコモの認知度を底上げするためには、多角的な取り組みと共に、子供のロコモに対する広報も必要となってきます。特に、一昨年より開始された運動器検診後の受診勧告児童・生徒などの実態調査の取り組みも真剣に行わなければならないと思います。この原稿の配信される頃から、受診される児童・生徒も多数おられると思います。制度の定着とともに重要な情報が得られると思いますので、下記の URL までご報告を宜しくお願い申し上げます。

<http://www.jig.co.jp/undouki.html>

また、今年度診療報酬改定において、小児運動器疾患指導管理料が、整形外科領域の指導料で実質的に初めて算定できるようになりました。現時点では、6 歳未満の紹介初診という縛りもありますが、できるだけ算定していくことも大事な事だと思います。現在、各都道府県において、小児運動器疾患指導管理医師セミナーが開かれていると思いますが、夏頃には JCOA ホームページにおいて、e ラーニングの受講も可能になると思います。この指導料が、子供のロコモ認識普及の一助にならんことを期待しております。【593 文字】